IHクッキングヒーター
SIH-T113AS (100V)
取付・設置説明書

●本機は、テーブル組込専用で、本体の下側が開放状態の架台に設置して使用いただくものです。厨房内では使用しないでください。また製品単体のみでは使用しないでください。
●取付・設置の前にこの説明書をお読みのうえ、正しく設置してください。
●取付・設置完了後、試運転を必ず行い、お客様に正しい使い方を説明してください。
●この取付・設置説明書は必ずお客様にお渡しし、保存いただくよう依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

⚠警告	“取扱いを誤った場合､使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合､使用者が傷害※2を負うことが想定されるか､または物的損害※3の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

⃠は､禁止（してはいけないこと）を示します。	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

⚠警告

取付・設置は「取付・設置説明」に従って確実に行う
不備があった場合は、漏電・火災の原因になります。

電気配線工事は､電気設備基準等関連する法令･規制等に従って､必ず｢法的有資格者｣が行う
接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。

⚠警告

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込んだりしない
禁止
コードが破損し、感電・火災の原因になります。

機器の定格に見合う専用回路を設置する
SIH-T113AS…100V・15A以上
配線部が異常発熱して、発火するおそれがあります。

電源線を直結する等、絶対に分解・改造は行わない
分解禁止
発火したり、感電・異常動作の原因になります。

機器の取付・設置は、専門業者に依頼する
お客様ご自身で据え付け工事をされ、不備があった場合は、感電・火災の原因になります。

火災予防条例等関連する規制に従って、可燃物との離隔距離を必ず守る
可燃物との距離が近い場合は、火災の原因になります。

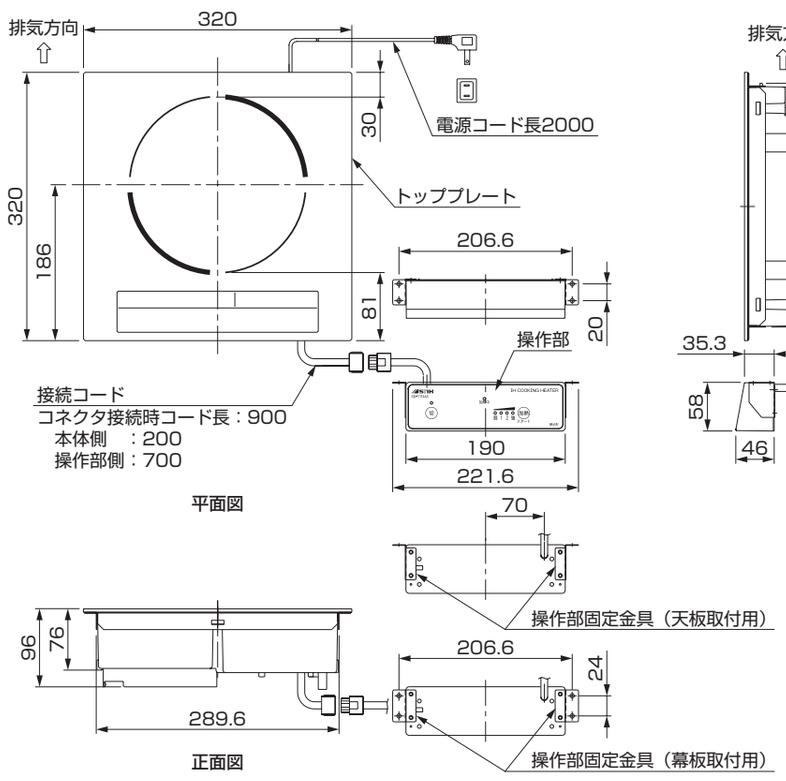
⚠注意

試運転中はトッププレートなど高温部に触れない
禁止
やけどのおそれがあります。

テーブルの材料は、145℃の熱に耐えるものを使う
耐熱性の低い材料を使用すると、変形やひび割れ・火災の原因になります。

トッププレートに衝撃を加えない
禁止
万一ひびが入るなど損傷した場合は、感電・過熱の原因になります。
※トッププレートの上に乗ったり、物を落したりしないでください。

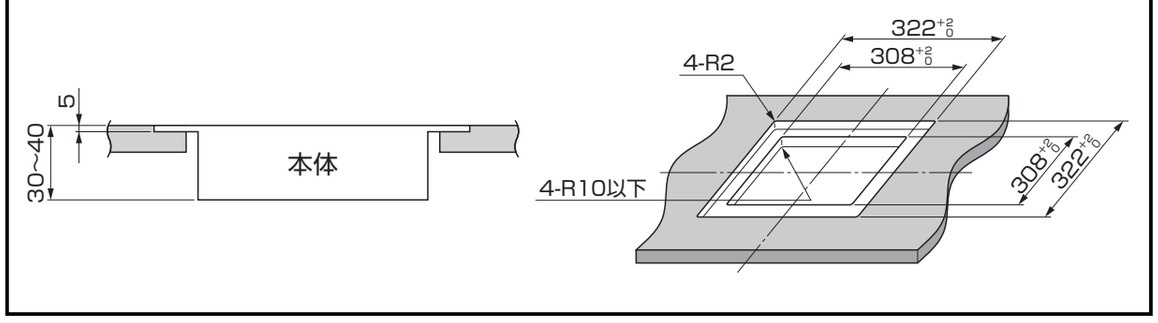
❶外形寸法図（単位：mm）



❷テーブルの加工（単位：mm）

■使用するテーブルについて
●テーブルには本体の重さ（約4kg）となべ、内容物の重さが加わります。十分な強度のテーブルをお使いください。

■本体取付穴の加工

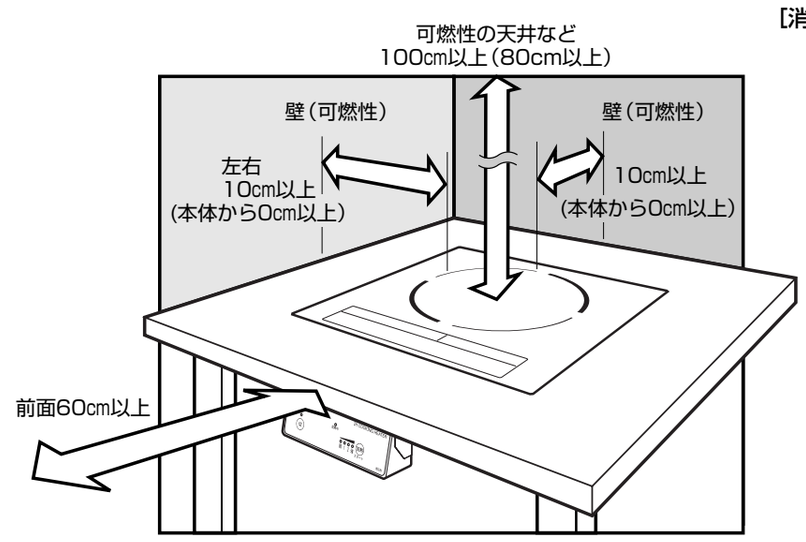


❸設置場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。

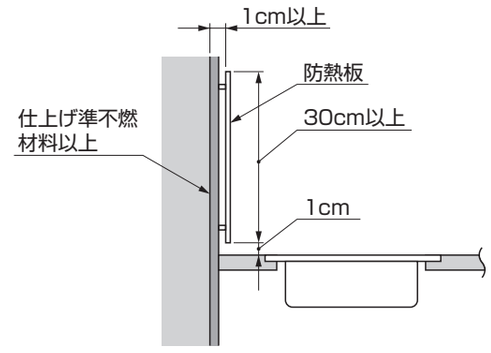
■周囲が可燃性の壁の場合の距離（防火構造壁以外）

［消防法　基準適合“組込形”］



※設置するときは、所轄の消防署に確認してください。
※（　　）内は不燃性の壁もしくは、防熱板を取り付けた場合

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合は、防熱板を取り付ける



お願い

●製品の金属部がテーブル等の金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とテーブル等の金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がテーブル等の金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第59条で危害なきよう設置することが定められています。）

❹取付・設置の前に

製造事業の届出

●工事現場で取り付ける場合を除き、家具製造業者等が製造活動として家具等に取り付ける場合は、電気用品安全法の規定により、乙種電気用品の製造事業の届出が必要です。

電　気　工　事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行なってください。

専用回路の設置

●電源ブレーカー付きの専用回路を設置してください。
SIH-T113A：100V・15A以上

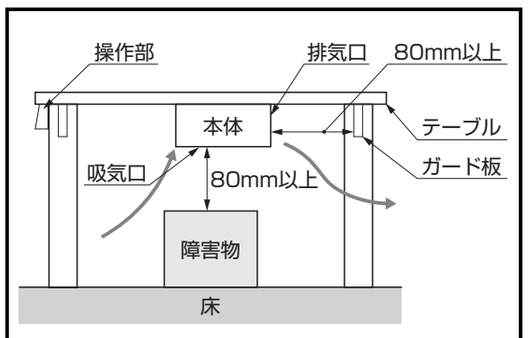
コンセントの設置

●下記のコンセントを設置してください。
100V用　定格125V-15A

コンセント形状

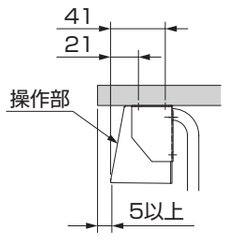
設　置　位　置

■本体と障害物との間

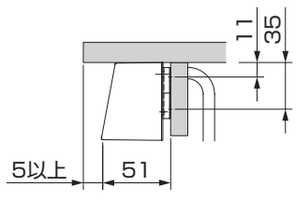


■操作部と幕板の関係

●天板に取り付ける場合



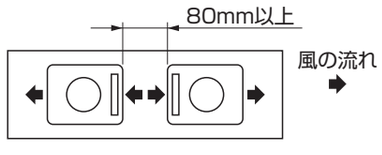
●幕板に取り付ける場合
※接続コードの位置に合わせて、幕板を加工して下さい。



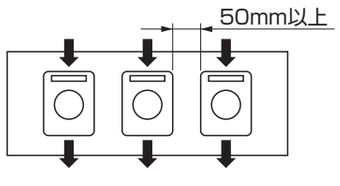
●本体と操作部の接続コードは90cmです。届く範囲に操作部を取付けてください。途中に幕板等がある場合はそれも見込んでください。

■本機を並べて据え付ける場合

●縦方向に2台並べる場合は、互いに外側へ排気するように吸気口を向かい合わせてください。



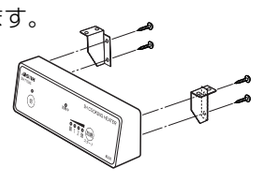
●横方向に2台以上並べる場合は、吸気口側・排気口側を同一方向にしてください。



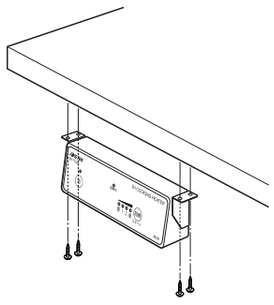
4 操作部を取り付ける

■テーブル天板下部に吊下げる場合

●操作部固定金具Aを固定ねじ（4本）で取り付けます。

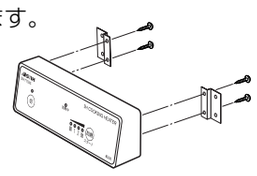


●テーブル天板に木ねじ（4本）で固定する。

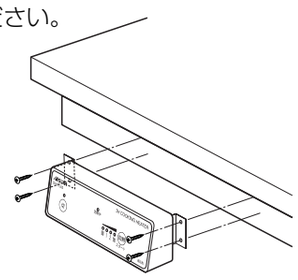


■テーブル幕板に取り付ける場合

●操作部固定金具Bを固定ねじ（4本）で取り付けます。

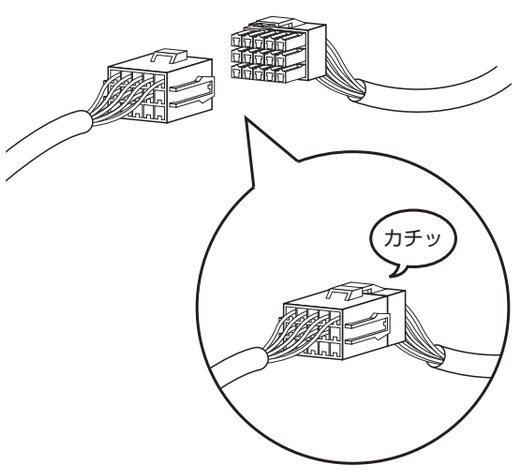


●テーブル幕板に木ねじ（4本）で固定する。
●接続コード位置に合わせて幕板を加工してください。

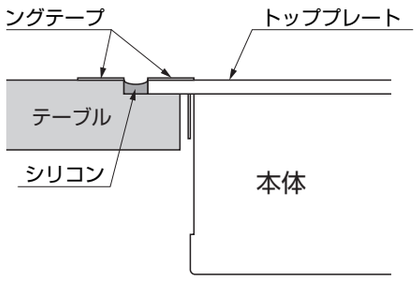


5 接続コードを接続する

●本体側コードのコネクタと操作部側のコードのコネクタを接続します。
※接続コードは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
※接続コードは別売品延長ケーブル（SAP-909C）を使用することで2mまで延長可能です。



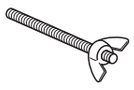
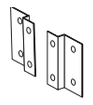
②テーブルとトッププレートとのすき間にシリコンを流し込むように塗布します。
余分なシリコンはふきとってください。
※シリコンを塗布する部分のごみや汚れは、取り除いておいてください。
※推奨シリコン：信越化学工業製KE45
または同等品



③約30分程度でマスキングテープをはがします。
④約1日、テーブルを水平に放置してシリコンを硬化させてください。
※立てたり、横向き、裏返しにはしないでください。
※ごみ、ほこりがシリコンに付着しないよう保護してください。

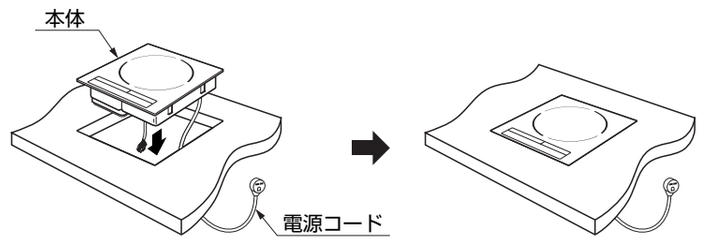
❺設 置 方 法

付属品の確認

固定金具	コード押さえ	蝶ねじ（M4×35）	木ねじ（φ3.8×16）	操作部固定金具A	操作部固定金具B	固定ねじ（φ3.8×6）
						
4個	8個	4本	12本	2個	2個	4本

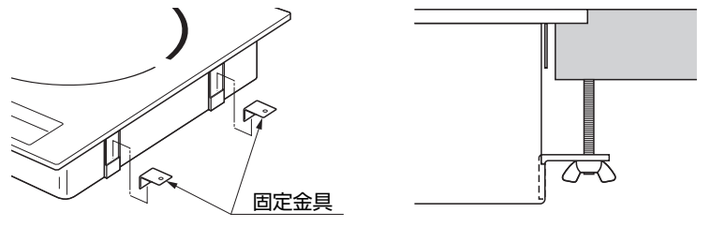
1 本体を取付穴にはめ込む

●電源コードを取付穴に通し、本体をテーブルにはめ込みます。
※左右前後の”本体と取付穴のすき間”が均等になるようにはめ込んでください。



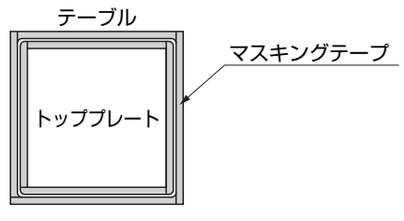
2 固定金具で本体を固定する

●本体の固定金具取付位置に固定金具を差込み、下からねじで固定してください。
※蝶ねじは、締め込み過ぎないようにかげんしながら締めてください。



3 テーブルとトッププレートすき間にシリコンを塗布し防水処理をする

①テーブルとトッププレートにマスキングテープを貼ります。
マスキングテープは、粘着力の弱いものを使用してください。
コーナー部は、角に合わせてカットしてください。

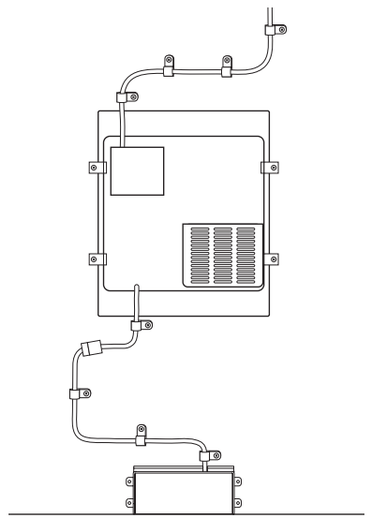


6 配線を処理する

●電源コードと接続コードを、付属のコード押さえで固定します。
※電源コードと接続コードは、一緒に固定しないでください。
※本体および操作部からの出口付近は必ず固定してください。
※コード押さえの間隔は50cmぐらいをおすすめします。

■コード巻取りキットを使用する場合

●別売品のコード巻取りキット（SAP-909A）を使用する場合は、キット同梱の説明書をご参照ください。



■取付・設置完了後の確認

●取付・設置終了後、次の項目を確認し、チェック欄に印をしてください。

確認項目		チェック欄
吸　気　口	フィルターが取り付けられていることを確認する。	
防　水　処　理	テーブルとトッププレートの間が防水処理を施されていることを確認する。	
外　観	・トッププレートが汚れていないことを確認する ・操作パネルシートに傷などのないことを確認する	
電　気　工　事	ブレーカー付き専用回路の設置·電源プラグの接続が確実に行われたことを確認する。	
電　気　試　験	①電源電圧が機器に合った電圧であることを必ず確認する ②取扱説明書に従って各キーを操作し、作動を確認する ・水を入れたなべを置いて、湯を沸かす。 ➡ しばらくすると、湯が沸く。 ※ なべを置かないでキーを操作した場合、なべ無し検知機能が働いて、ピッピッピッと断続的にブザーが鳴ります。	
確認年月日	年　月　日　設置完了確認者	

●電気試験後は、必ず電源を「切」にしてください。
●取扱説明書（保証書付）、取付・設置説明書は、お客様にお渡しください。

SNK 三化工業株式会社
〒102-0072　東京都千代田区飯田橋4丁目4番8号 東京中央ビル
TEL.03-3239-1819（代）　FAX.03-3234-2532

0905.I 032301.Y